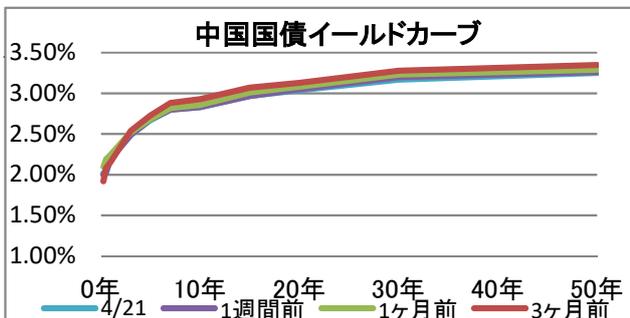
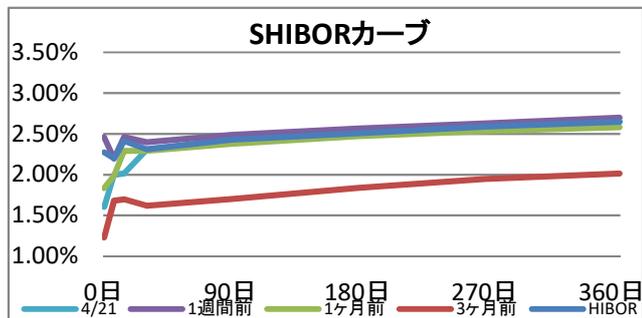


基準レート		2023/4/21	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8752	+0.0146
	JPY/CNY	5.1271	-0.0488
SHIBOR	3M	2.4290%	+0.0070%
国債利回り	10年	2.83%	+0.00%
上海総合指数		3,301.26	-36.89



(1) 概況

国際金融市場では、欧米での5月初の金融政策決定会合を控え、区々の経済指標と企業決算発表が続いており、株式、債券、外為市場ともに小幅な値動きに終始している。

中国金融市場では、株式市場は経済指標の回復のばらつきから上値の重い展開が続く、週末にはハイテク中心に利食い売りから大幅な下落となったが、債券利回りは小幅な値動きに終始。為替市場も、人民元は小動きの中で総じて軟調な展開。

中国では、習主席が改革深化委員会で、民間企業の発展促進と国有部門の管理強化・改善の指針を示し、李総理は國務院常務会議で有効な雇用安定策の調整・検討を指示した。易人民銀行総裁はG20会合等で「回復基調にある中国の成長率は5%前後」、「中小金融機関の経営リスクは緩和に向けた取り組みが進展」と強調し、同行貨幣政策司長は、「感染症の影響の残存から消費回復に時間がかかるが経済は好転しており、デフレには繋がらない」との考えを示した。また、金融監督当局トップは、日本の垂中国大使と会談して中国資本市場の改革開放や日中資本市場の実務協力等について意見交換を実施し、香港政府財政部長とも全方位・多層的な協力に向けて合意し、シンガポールとも協力関係強化を確認。証監会は、市場参加者規範化のための関連法律や先物デリバティブ法の要求に関連する法律の制定計画を示し、その一環で先物取扱者の管理法（パブコメ）等を公表し、30年物国債先物上場を認可。中国外為取引センターは、海外機関投資家等による中国債券市場への投資アクセス改善に関する通知を公表し、銀行間外為市場での外国為替・デリバティブ取引への参加申請を認めた。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日540億元、MLF期日1500億元、中央国庫現金管理商業銀行定期預金期日900億元に対して、リバースオペ2120億元、MLF1700億元、中央国庫現金管理商業銀行定期預金500億元を実施し、ネットで1380億元を供給。

(3) 主な経済指標

- ・GDP (Q1) は、前年同期比+4.5% (Q4、+2.9%) とゼロコロナ措置終了に伴う消費サービスの回復を主因に高い伸び。
- ・小売売上高 (3月) は、前年比+10.6% (1-2月、同+3.5%) とプラス幅を大幅に拡大。特に、飲食関係が前年比+26.3% (1-2月、同+9.2%) が高伸したほか、自動車販売も前年比+11.5% (1-2月、同-9.4%) とプラスに転じた。もっとも、昨年3月 (同-3.5%) がコロナ感染拡大の影響で前年割れであった点には留意が必要。
- ・鉱工業生産 (3月) は、前年比+3.9% (1-2月、同+2.4%) とプラス幅を拡大。自動車 (前年比+11.2%) が販売回復を反映しプラス転じたほか、インフラ投資の増加等を背景に、鉄鋼 (同+6.1%) やセメント (同+4.1%) もプラスを記録。もっとも、PCやスマホ、半導体ICチップは前年割れを継続。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.2720%	2.0000%	1.7800%	
1W	2.1990%	2.2000%	2.5000%	
2W	2.4120%	2.5000%	2.6500%	1.9500%
1M	2.3100%	2.6000%	2.6000%	2.3400%
3M	2.4290%	2.8000%	2.6000%	2.4400%
6M	2.5070%	2.7000%		2.5100%
9M	2.5890%			2.6200%
12M	2.6490%	3.5000%		2.6400%

足下の資金需給がタイト化しつつある中、中国人民銀行の金融政策に変化はなく、日々のオペによる資金供給を増額する対応が続いている。ターム物金利水準も高止まりの状況に変化はなく、1ヶ月が2.6%前後で取引されている以外、出合いは限定的。

NCDの金利水準も概ね変化なく、狭いレンジ内での取引が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.3%台、3ヶ月が2.4%台前半、6ヶ月が2.5%前後、1年が2.6%台前半での取引が続いている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	4.85%	4.86%
1W	4.95%	5.00%
1M	5.22%	5.25%
3M	5.35%	5.40%
6M	5.40%	5.45%
12M	5.40%	5.45%

5月のFOMCでの小幅利上げ見通しが高まる一方で、先行きに対する不透明感が高まっており、ターム物の出合いは引き続き限定的。ターム物の金利水準は、1ヶ月は5.2%台、3ヶ月は5.35%前後での取り気配が続いている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.02%		2.39%	2.52%	2.69%
6M	2.03%		2.47%	2.60%	2.77%
1Y	2.19%	2.26%	2.63%	2.72%	2.90%
3Y	2.49%	2.63%	2.83%	3.02%	3.59%
5Y	2.67%	2.80%	2.93%	3.19%	3.89%
10Y	2.83%	2.98%	3.17%	3.47%	4.26%

欧米の景気動向と金融政策に対する不透明感が高まる中、中国債券市場では金融政策に変更はなかったが動揺も見られず、小幅な値動きに終始する展開が続いた。米国では経済指標が区々の内容となったものの、FRB高官発言等から5月のFOMCでの小幅利上げ見通しが高まり、10年国債利回りも3.57%（前週比+6bp）に更に上昇しており、10年中国国債（2.83%、変わらず）に対する上回り幅は+74bp（同+6bp）へと拡大している。

イールドカーブは、総じて低下する状況に変化はなく、足下資金需給のタイト化と材料難から前週同様に小幅ながらフラットニングが続いている。クレジットスプレッドは、低下余地の乏しい国債利回りが下方硬直的となっていることや、前週に私募ファンドに対する債券投資規制強化検討に関する報道で拡大していた反動から縮小に転じている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-177.0 / -176.0
3M	-546.0 / -542.0
6M	-1060.0 / -1050.0
9M	-1480.0 / -1470.0
12M	-1795.0 / -1788.0

対ドル基準レートは6.8752と前週末比+146pipsのドル高元安、対円基準レートは5.1271と同-488pipsの円安元高と、市場での小幅な元高を受けた設定が続いた。中国国内市場では、米中の金融政策見通し不透明感から動意に乏しいものの、米中金利差拡大に対する懸念低下による元高期待もあって上値は重く、6.87-89の狭いレンジ取引となっていた。

先物は、FRBの5月の利上げ見通しの高まりからややマイナス幅を拡大させる展開となっており、1年でも-1800を挟んだ狭いレンジ取引となっている。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.31%		1.83%
6M	2.33%	2.47%	1.86%
9M	2.36%	2.52%	1.88%
1Y	2.39%	2.59%	1.89%
3Y	2.64%	2.93%	2.03%
5Y	2.84%	3.20%	
7Y	2.96%	3.35%	
10Y	3.11%	3.47%	

スワップ金利も、引き続き動意なく、小幅な値動きが続いている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは短期の基準金利の上昇もあって、前週末比やや拡大している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。